

# 令和3年度 保育士確保等実態調査結果について

島根県健康福祉部子ども・子育て支援課

# 調査概要

- ・調査対象

- ①保育士登録者向け調査

- 島根県で保育士登録を行った方に対し、調査を実施

- ②保育事業所向け調査

- 島根県内の保育施設（保育所、認定こども園、地域型保育事業、認可外保育施設）に対し、調査を実施

- ・調査内容

- 保育士確保に関する実態や課題・問題点等を把握し、現在、島根県で実施している施策等に対する結果や今後の施策検討の材料とする

- ・調査期間

- ①令和3年10月11日 ～ 令和3年10月29日

- ②令和3年10月7日 ～ 令和3年12月15日

- ・回答率

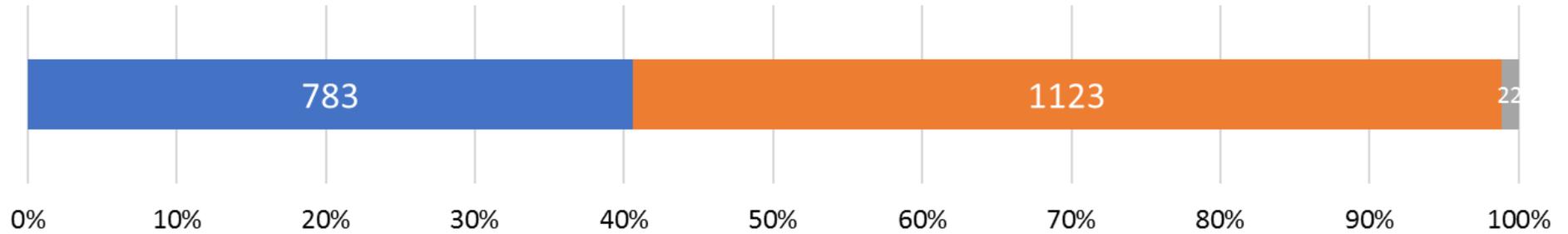
- ①34.2%（回答数：2,811名）

- ②78.8%（回答数：286施設）

保育士向け調査について（抜粋）

## 保育士の退職・復職経験について

### 保育士の仕事を退職したことがあるか

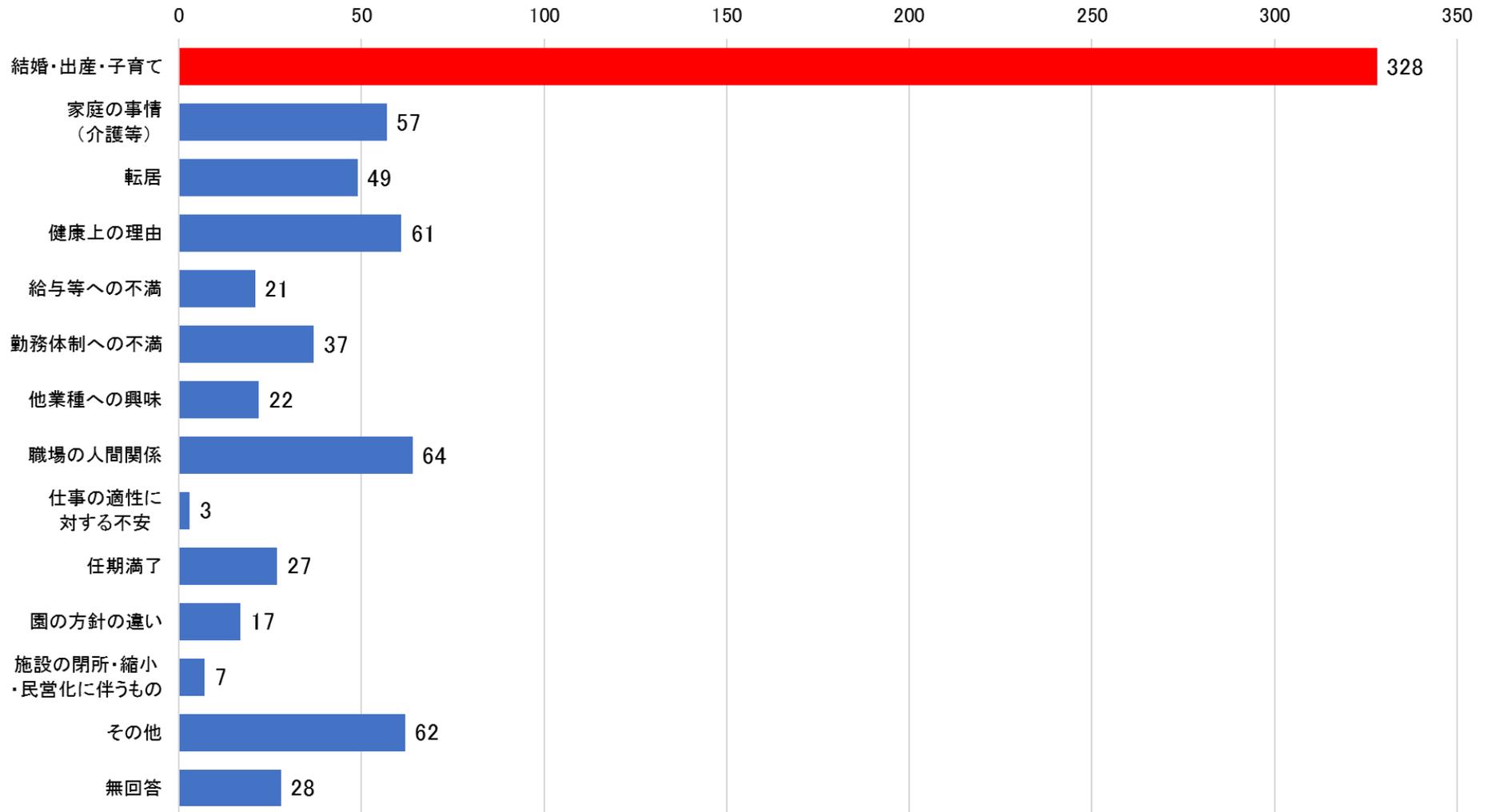


ある	ない	無回答
783	1123	22

■ある ■ない ■無回答

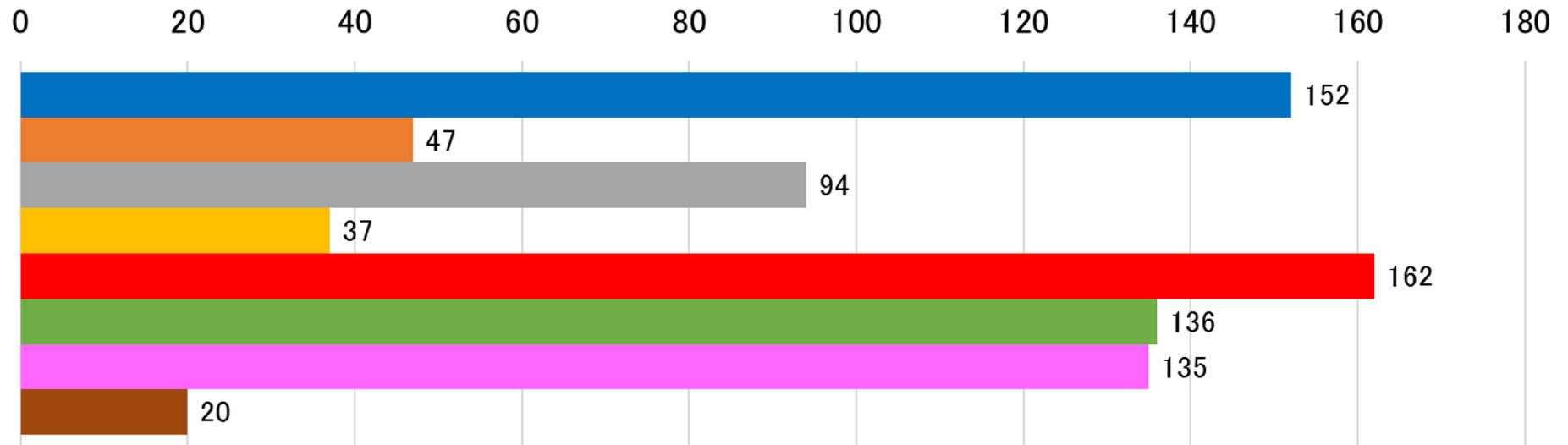
調査回答者のうち、現在保育士として就業している方で退職したことがある方は4割程度。

## 退職理由



退職したことがある方のうち、退職した理由で最も多かったのは「結婚・出産・子育て」であり、次いで「職場の人間関係」「健康上の理由」「家庭の事業」「転居」などがあつた

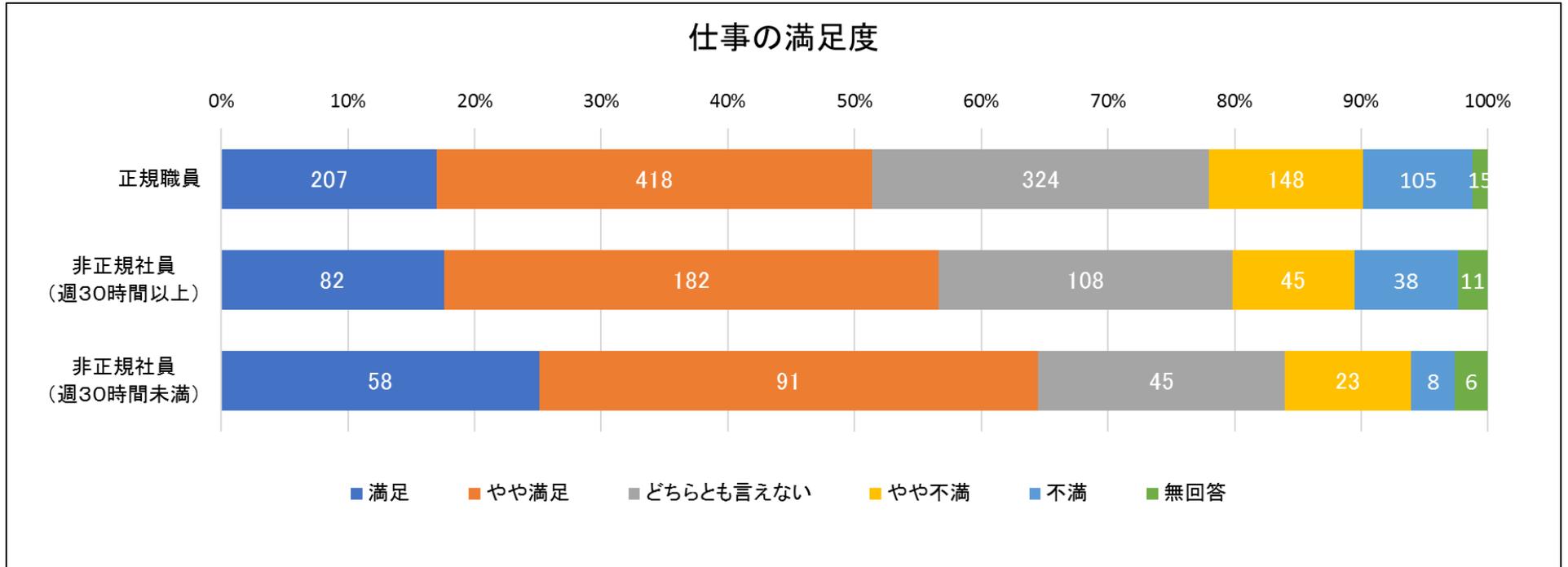
## 復職したきっかけ



- 育児が一段落したから
- 家族の事情(介護等)が一段落したから
- 転居先での就職先が見つかったから
- 健康上の不安が解消したから
- 保育士の仕事をもう一度してみたいくなったから
- 経済的な理由
- その他
- 無回答

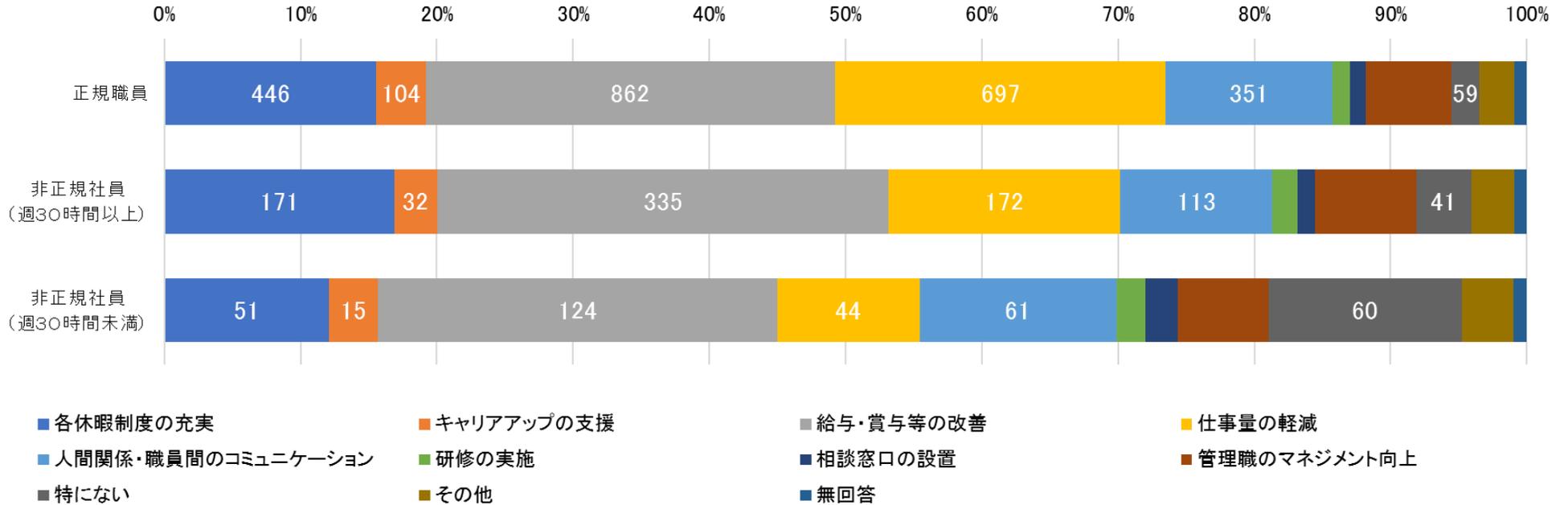
退職した方で復職したきっかけは、「保育士の仕事をもう一度してみたいくなったから」「育児が一段落したから」などがあった

# 仕事の満足度、やりがい、改善点について



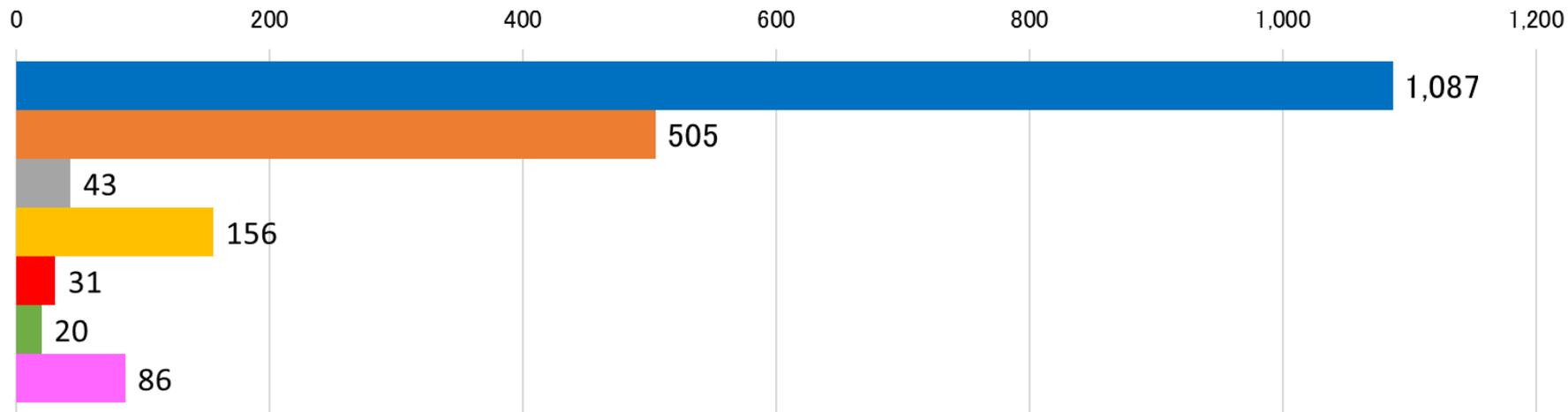
仕事の満足度としては、正規・非正規ともに半数以上は満足しているが、2割の方が不満と回答している。

## 現在の職場に改善してほしいこと



職場への改善点は、雇用形態に関わらず「給与・賞与等の改善」が1番多く、そのほか「仕事量の軽減」「各休暇制度の充実」「コミュニケーション」があげられている

## 保育士の仕事のやりがいや魅力

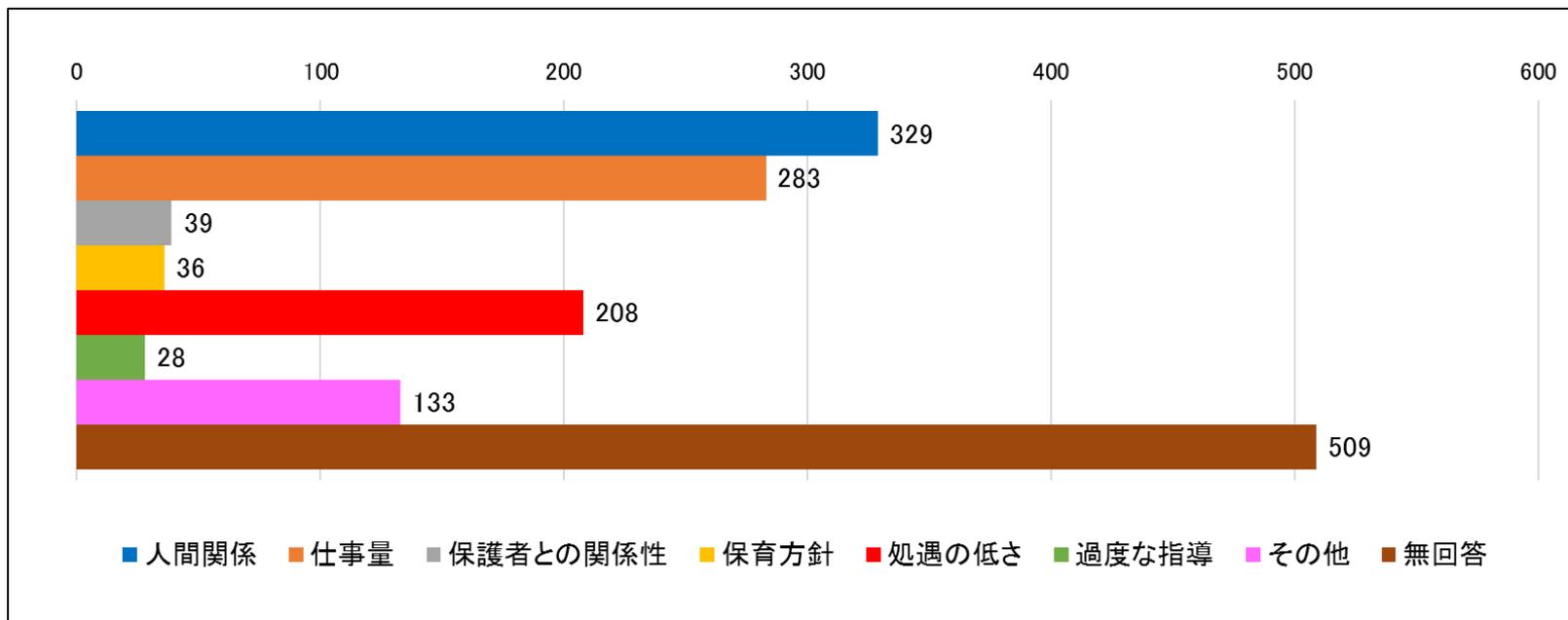
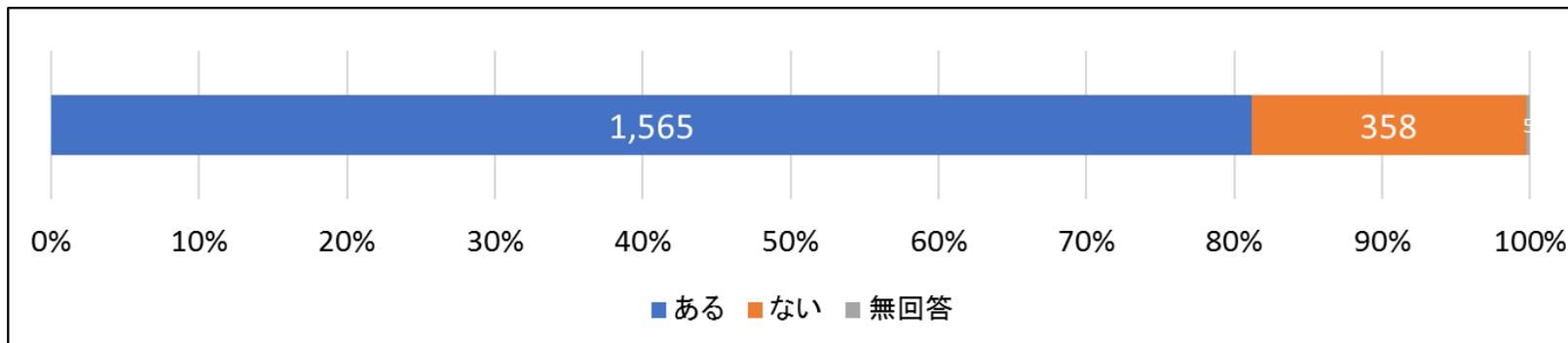


- 日々の保育や子どもの育ちの面白さ
- 保護者からの感謝
- 保育士としての自身の成長・スキルアップ
- 無回答

- 子どもの成長を支え共に育っているという実感
- 子どもや保護者の支援ができること
- その他

保育士の仕事のやりがいや魅力として、「日々の保育や子どもの育ちの面白さ」が最も多く、次いで「子どもの成長を支え共に育っているという実感」があった

## 保育士を辞めたいと思ったことがあるか

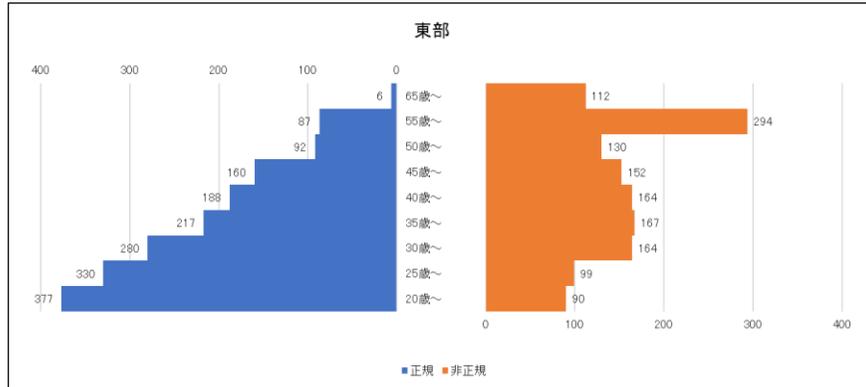


保育士を辞めたいと思ったことがある人は回答者のうち8割以上にのぼり、その理由として「無回答」が一番多く、次いで「人間関係」「仕事量」「処遇の低さ」と続いた。

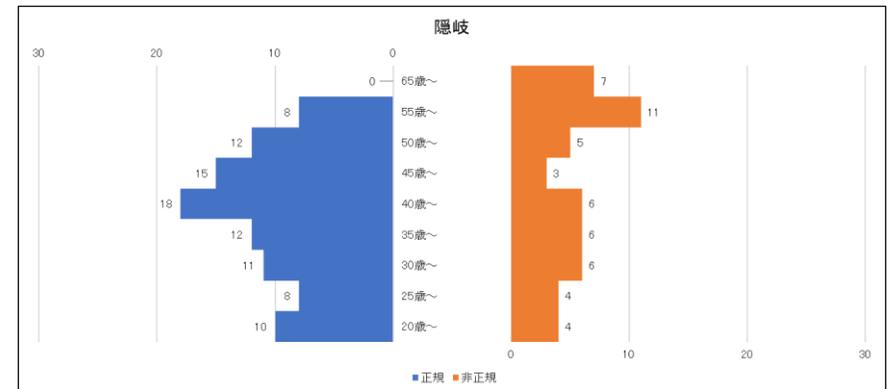
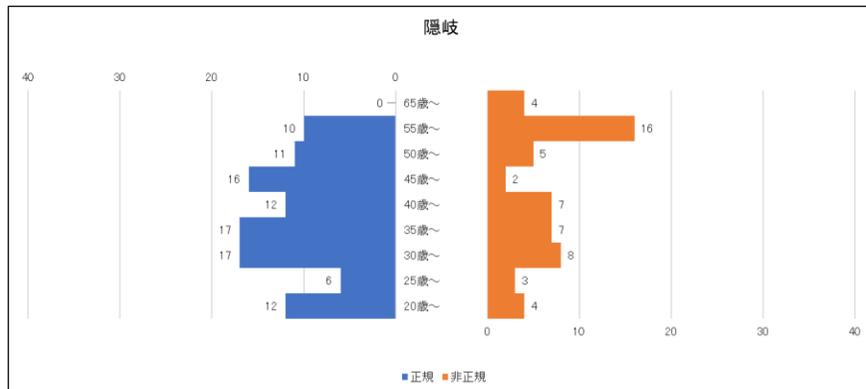
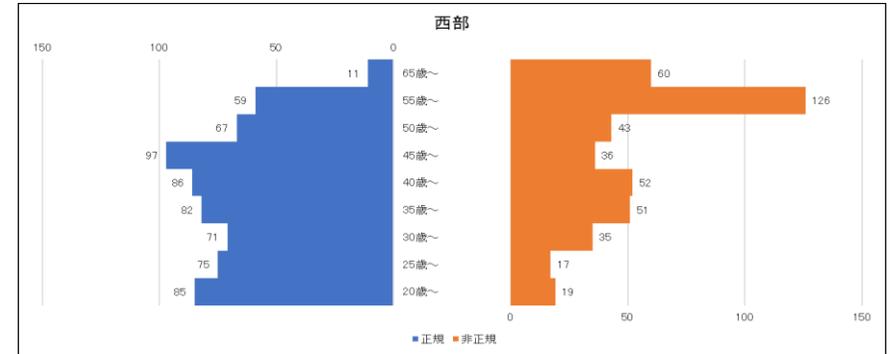
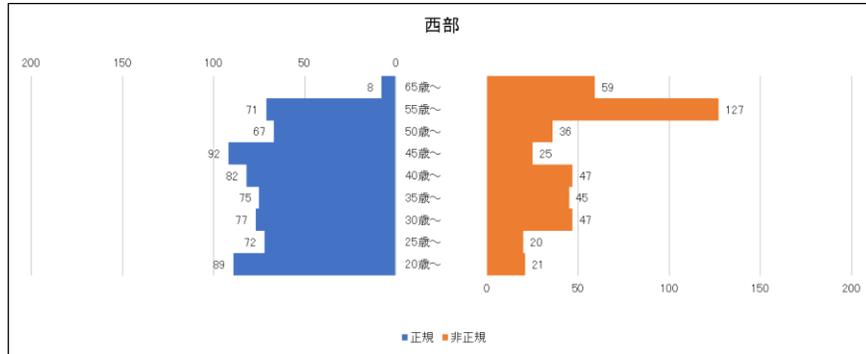
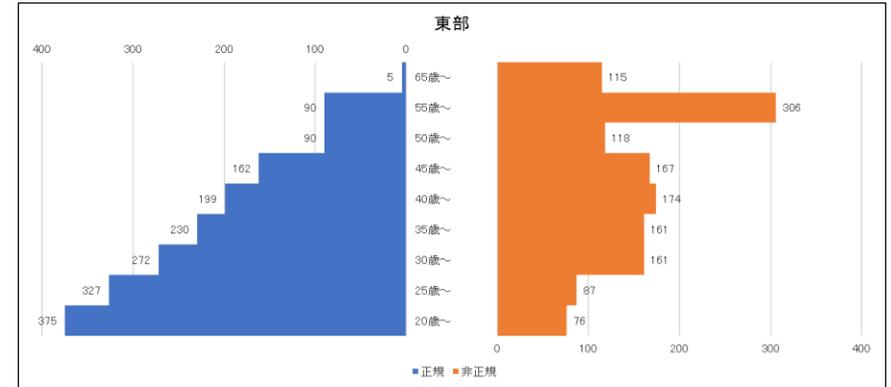
事業所向け調査について（抜粋）

# 職員の年代別配置状況（地方別）

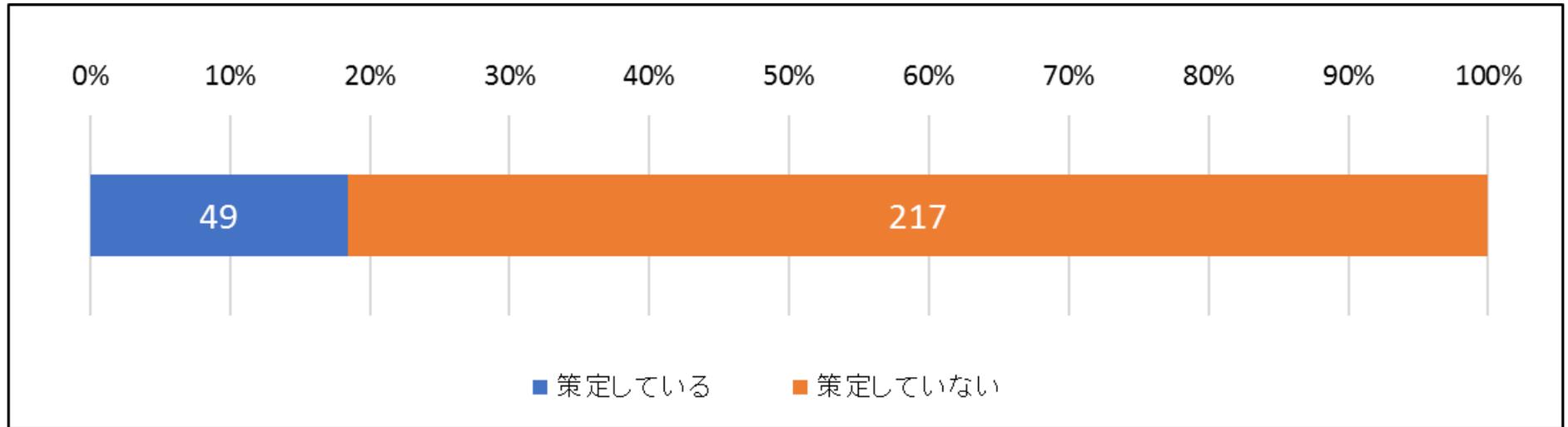
令和2年4月1日



令和3年4月1日

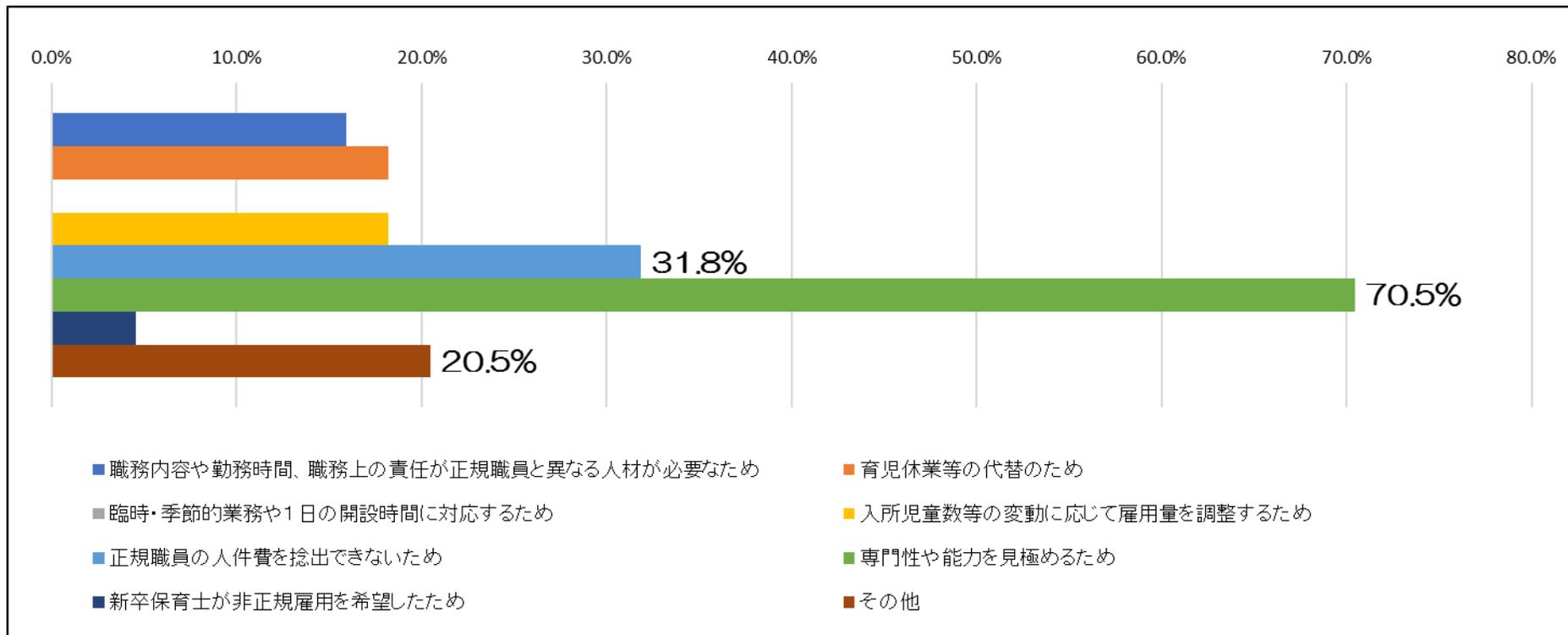


## 採用計画の策定



回答のあった施設のうち、8割以上の施設が採用計画を策定していない状況であった。

## 新卒保育士を非正規で雇用した理由



新卒保育士を非正規で雇用した理由として「専門性や能力を見極めるため」が一番多く、次いで「正規職員の人件費を捻出できないため」「その他」となった

## 年代別退職者の状況（令和2年度）

### 人数

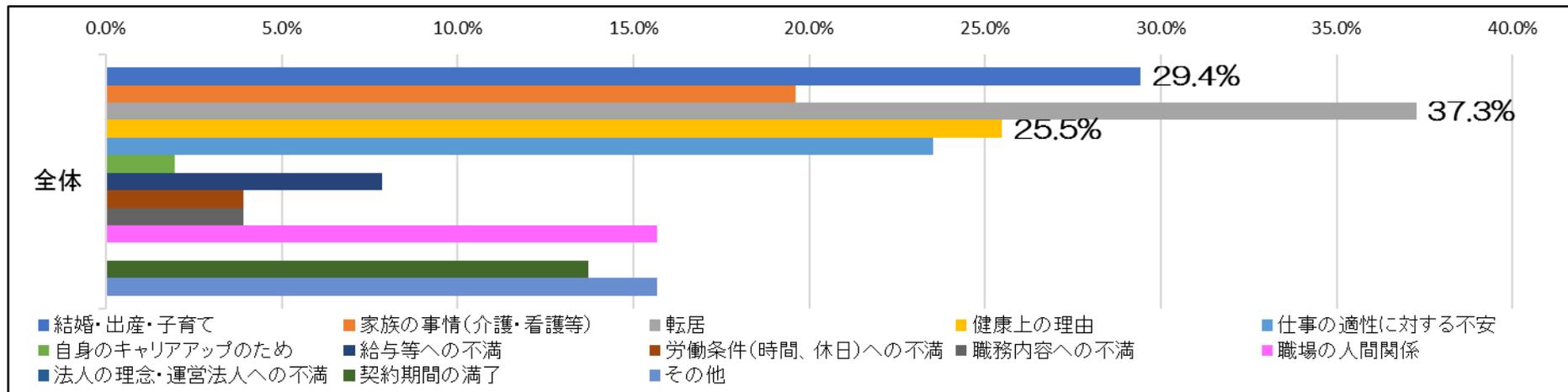
		20代	30代	40代	50代	60代
正規職員	1年未満	12	9	3	2	0
	～3年未満	31	8	1	3	1
	～5年未満	31	4	2	2	2
	～7年未満	19	3	0	1	0
	7年以上	12	36	7	14	16
	計	105	60	13	22	19
非正規職員	1年未満	8	8	7	2	6
	～3年未満	24	21	10	8	6
	～5年未満	6	11	5	3	6
	～7年未満	3	4	3	1	2
	7年以上	5	8	11	9	25
	計	46	52	36	23	45
全体	1年未満	20	17	10	4	6
	～3年未満	55	29	11	11	7
	～5年未満	37	15	7	5	8
	～7年未満	22	7	3	2	2
	7年以上	17	44	18	23	41
	計	151	112	49	45	64

### 年代別退職年数別退職者割合

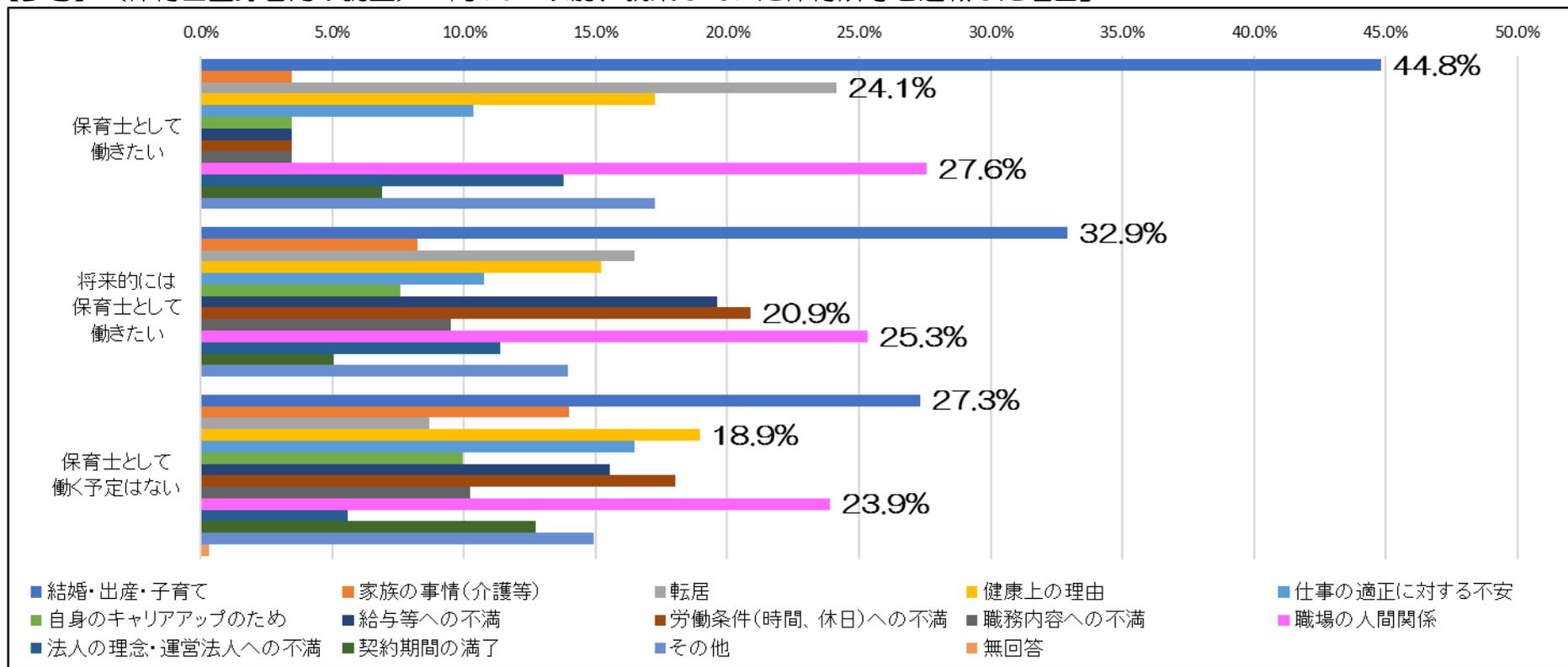
		20代	30代	40代	50代	60代
正規職員	1年未満	11.4%	15.0%	23.1%	9.1%	0.0%
	～3年未満	29.5%	13.3%	7.7%	13.6%	5.3%
	～5年未満	29.5%	6.7%	15.4%	9.1%	10.5%
	～7年未満	18.1%	5.0%	0.0%	4.5%	0.0%
	7年以上	11.4%	60.0%	53.8%	63.6%	84.2%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
非正規職員	1年未満	17.4%	15.4%	19.4%	8.7%	13.3%
	～3年未満	52.2%	40.4%	27.8%	34.8%	13.3%
	～5年未満	13.0%	21.2%	13.9%	13.0%	13.3%
	～7年未満	6.5%	7.7%	8.3%	4.3%	4.4%
	7年以上	10.9%	15.4%	30.6%	39.1%	55.6%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
全体	1年未満	13.2%	15.2%	20.4%	8.9%	9.4%
	～3年未満	36.4%	25.9%	22.4%	24.4%	10.9%
	～5年未満	24.5%	13.4%	14.3%	11.1%	12.5%
	～7年未満	14.6%	6.3%	6.1%	4.4%	3.1%
	7年以上	11.3%	39.3%	36.7%	51.1%	64.1%
	計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

20代の退職者（特に正規）が多くみられる  
 また、20代のうち約半数が3年以内、7割程度が5年以内に退職している

# 離職者の状況

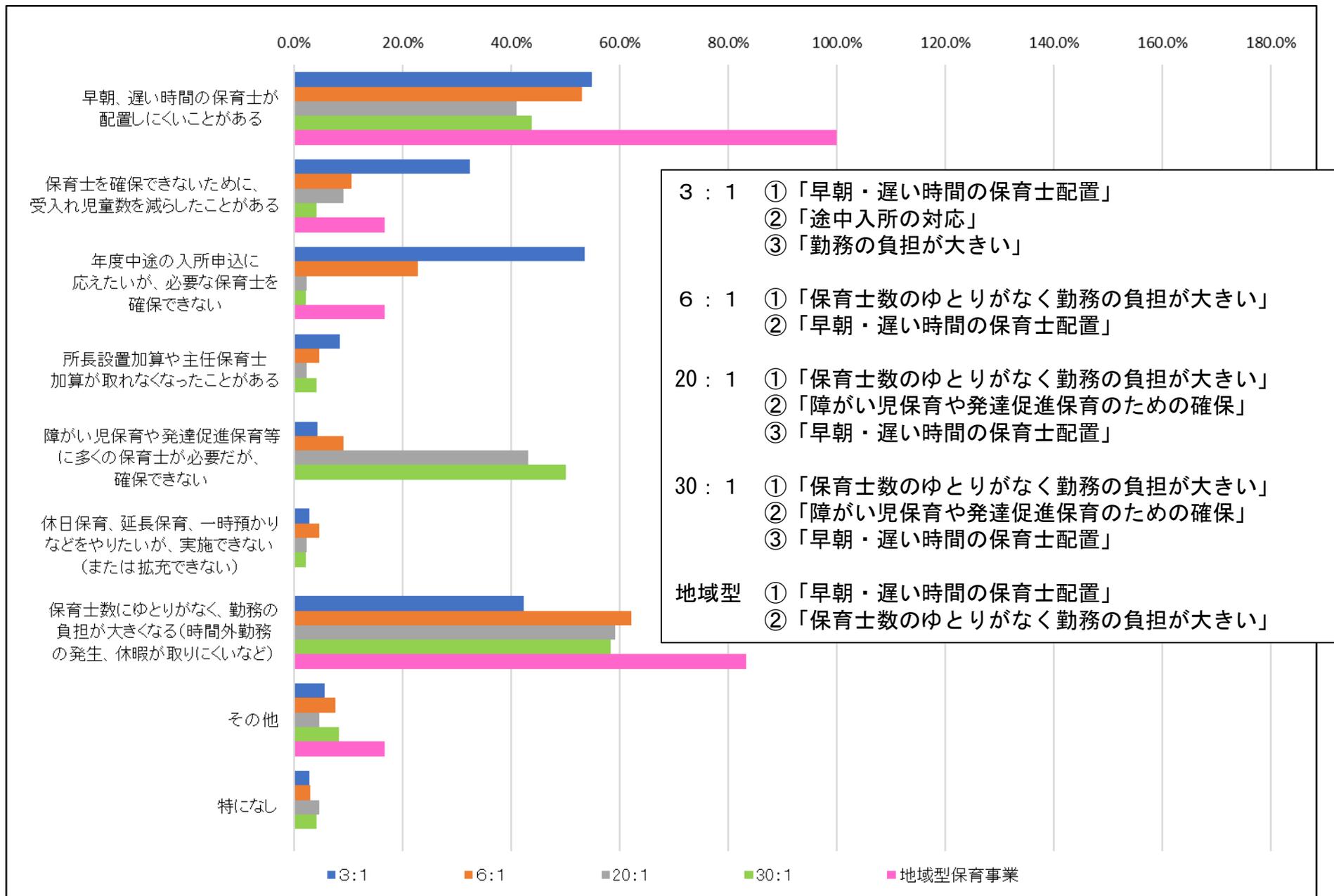


【参考】（保育士登録者向け調査）「問16 以前、就業していた保育所等を退職した理由」

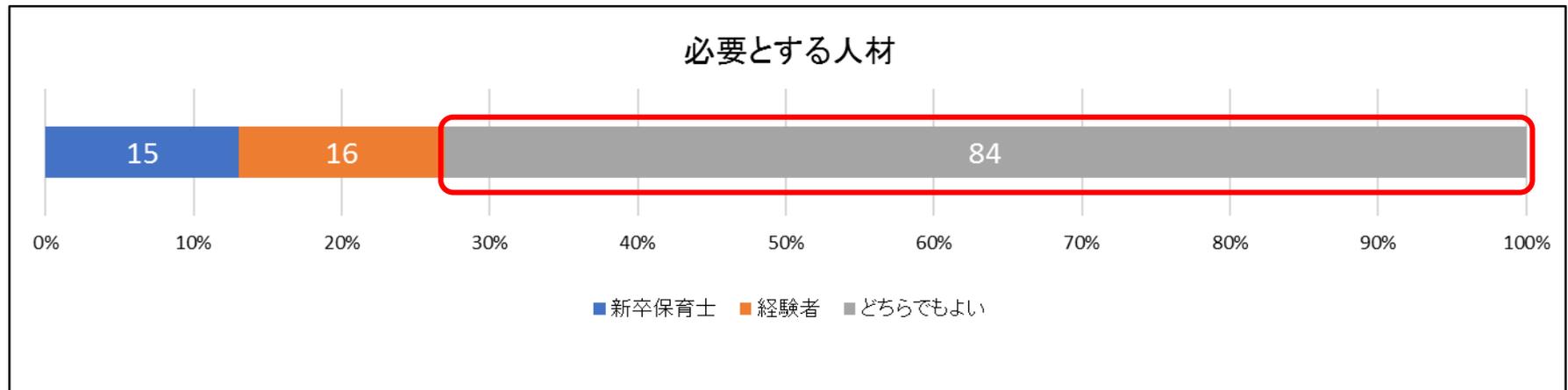
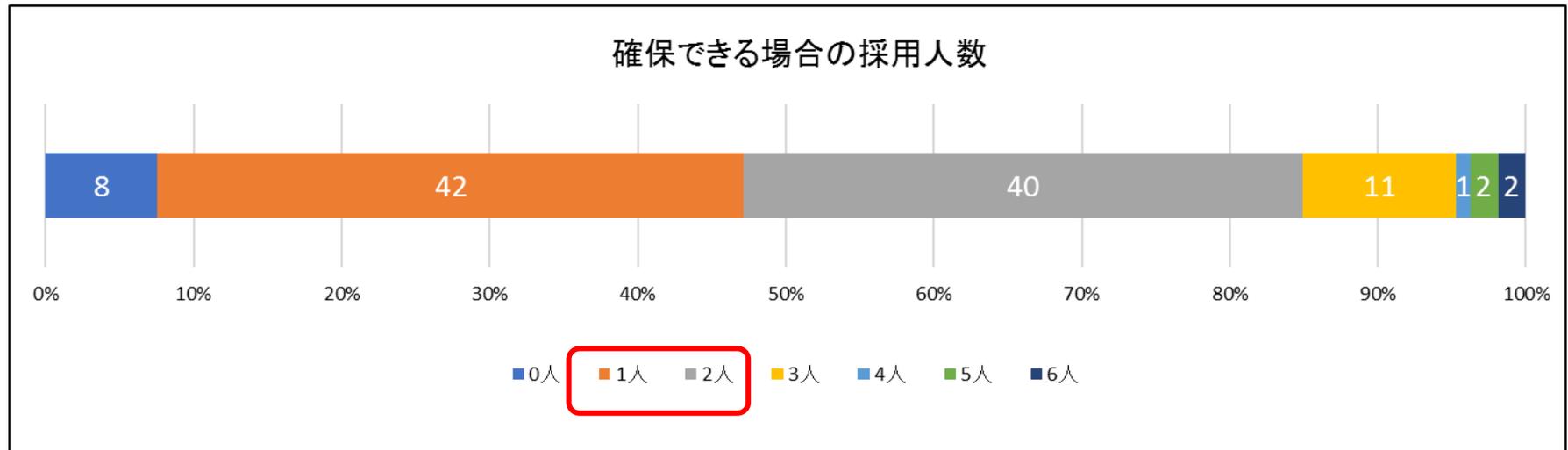




# 職員が必要な理由（配置基準別・複数回答あり）



## 保育士が確保できる場合の状況



保育士が確保できなくなった場合の採用人数は、回答いただいた施設で1人又は2人の回答が多く、その人材は、新卒保育士と経験者のどちらでもよいが7割程度であった。